

地理総合 第14回

熱帯気候と人々の生活
松下 智

熱帯に生きる人々の生活

- 衣：吸水性・保湿性に優れた綿や麻でできた風通しの良い服装を着用

熱帯とはどのような場所か？

- 赤道を中心とした地域
 - 北緯・南緯15°～20°くらい
- 高温多湿
- 自然が豊か
 - 熱帯雨林が発達
 - 熱帯雨林にさまざまな生物が住み、生物が多様

熱帯に生きる人々の生活

- 食：豊富な生物資源を利用した狩猟採集、イモ類・キャッサバ・雑穀類を焼畑農業で栽培（アジアでは稲作が盛ん）

なぜ赤道周辺は暑く雨が多い？

- 赤道周囲は太陽エネルギーが最も多く降り注ぐ場所
 - 熱帯は1年を通して気温が高い（年較差が小さい）
- 気温が高いため上昇気流が発生→熱帯収束帯（赤道低圧帯）
 - 赤道直下は高温多雨（熱帯雨林気候：Af）
- 熱帯収束帯の位置は季節により変動→雨季と乾季ができる
 - 弱い乾季がある（熱帯モンスーン気候：Am）
 - 雨季と乾季の差が明瞭（サバナ気候：Aw）

熱帯に生きる人々の生活

- 住：木材やヤシの葉でつくる。高温多湿であるため、高床にしたり、壁をなくしたりして風通しを良くする

熱帯地域における諸課題

- 過度な焼畑農業
 - 伝統的な焼畑農業では、畑を数年ごとに移動させ、長い休閑期間をとっていた。その間に地力を回復させる。
 - 近年では人口急増とそれによる食料不足にともない、地力が回復する前に次の耕作を行ってしまうケースがある。
- 地力の低下、作付けが不可能になり砂漠化

熱帯地域における諸課題

- プランテーション農業
 - 先進国が大資本地主となり、大規模に商品作物を栽培する農業。
 - A F気候の地域ではアブラヤシ・天然ゴム・カカオ
 - A W気候の地域ではコーヒー・綿花
 - 地元民の土地を収用し、労働力を搾取してきたとの批判
 - 飢餓に苦しむ地域で、先進国向けの（自分たちは食べられない）嗜好品作物を生産しているという矛盾

熱帯地域における諸課題

- 熱帯雨林の過剰伐採
 - 目的はおもに以下の2つ
 - ① 先進国向けの建築用木材として輸出するため
 - ② 大規模プランテーション農園、牧場・養殖池への転用のため
 - 世界的な森林資源の減少、温暖化助長、地元民の生活基盤を奪っている、といった観点から問題化